

お客さま本位の業務運営に関する取組方針

JAグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

この理念及び当組合の「必要とされるJAを目指す」という基本方針のもと、2017年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するため、以下の取組方針を制定いたしました。

今後、本方針に基づく取組みの状況を定期的に公表するとともに、よりお客さま本位の業務運営を実現するため本方針を必要に応じて見直してまいります。

1. お客さまへの最適な商品提供

- (1) お客さまに提供する金融商品は、JAバンクグループの中央機関である農林中央金庫において、販売する商品の基本的な利益、損失、その他のリスク、取引条件、選定理由、手数料等が適切なものであることを確認し、「JAバンク セレクトファンド」として厳選した商品を主に取り扱っております。過去の運用実績や手数料水準などが良好であり長期投資に適した商品となっております。

特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえ、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選定します。なお当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3)】

2. お客さま本位のご提案と情報提供

- (1) お客さまとの対話を重視し、金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、パンフレット、資料等を用いてお客様にふさわしい商品をご提案いたします。

また、資産形成・資産運用のお役に立てるよう税制優遇制度(NISA・iDeCo)等も取り扱っており、長期的な投資を推奨しております。【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- (2) お客様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について運用状況等を一覧で確認できる資料等を用いて、分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供します。【原則4、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】
- (3) お客様にご負担いただく手数料について、お客様の投資判断に資するようパンフレットや重要情報シート等を活用し、丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。【原則4、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

3. 利益相反の適切な管理

- (1) お客様への商品選定や情報提供にあたり、重要情報シートを活用し、商品の比較検討をいたうえでご理解いただくことで、お客様の利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。【原則3本文および(注)】

4. お客様本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- (1) 研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客様本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。【原則2本文および(注)、原則6(注5)、原則7本文および(注)】

(※) 上記の原則および注番号は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」(2021年1月改訂)との対応を示しています。